

ペンギンの研究者に インタビュー



し お み
塩見 こずえさん

※2020年4月より東北大学・
学際科学フロンティア研究所・助教

プロフィール

- 千葉県出身。専門は動物行動学。2015年より極地研助教。
- コウテイペンギン（マクマード基地）、オウサマペンギン（クローゼ基地）、アデリーペンギン（デュモンドビル基地）の調査に参加。
- 好きなペンギンはヒゲペンギン。

（2019年7月現在）



どうしてペンギンの研究に興味をもったのですか？
ペンギンの魅力を教えてください。

大学の授業で南極のペンギン調査の話聞いた時に、なぜかわからないけど「これだな」と思いました。ペンギンの一番の魅力は、陸でのおぼつかない動きと水中でのなめらかな動きとのギャップだと思います。まるで、水面を通るたびに別の生き物に変身しているみたいです。



ご自身の研究内容を教えてください。

ペンギンは、海で餌を採って巣で待っているヒナに運ぶ、という行動を繰り返して子育てをしています。その移動距離は、数100 kmにおよぶこともあります。私が特に興味を持っているのは、ペンギンが餌のある場所や巣などの目的地にどうやってたどり着いているのか、ということです。水中、陸上、氷の上... いろんな環境を移動するペンギンの経路をバイオロギングで調べて、この謎の答えに近づきたいと考えています。



子どもたちにむけてメッセージをお願いします。

ありきたりですが... わくわくできること、夢中になれることを大切にしてもらいたいです。